当院へお越しになるすべての皆さんへ＿新型コロナウイルスと闘うために

　新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）の流行が止まりません。合志市ではいまだ陽性患者は出ていませんが、日々診療にあたっているものの肌感覚としては、先週末以降かなり近くまで流行が迫ってきていると感じています。COVID-19との闘いは長期にわたると予想され、皆さんの協力なしでは乗り越えられないと考えています。
　そこで当院の診療方針をお知らせするとともに、この難局を乗り越えるための皆さんへのお願いを申し上げます。長文となりますが、当院内に入られる方は全員（ワクチン接種の付き添いの方も含めて）、最後までお読みいただきますようお願いいたします。「知らなかった」、「忙しくて読んでない」では済まされない局面が来ています。

　まず当院の基本姿勢です。

1. COVID-19を含めた感染症診療を行う

2. 診療体制を維持する
3. 予防接種事業を滞らせない

1. COVID-19を含めた感染症診療を行う

　そもそも医療に求められるものは「治すこと」と考えています。COVID-19だけではなく世の中には様々な感染症が存在します。今回のCOVID-19の流行前から私たちは感染症と闘ってきました。残念ながら現時点では当院にお越しいただいてもCOVID-19であるかどうかの診断は出来ませんが、COVID-19であろうとなかろうと困っているお子さんが良くなるように力を尽くします。入院が必要な場合には然るべき医療機関へ紹介します。大切なのは診断名ではなく「治る」ことと考えており、感染症診療の基本姿勢は今までと変わりがありません。

2. 診療体制を維持する

　当院経由の感染拡大、スタッフへの感染防止のため、これまでも考えうる限りの予防策は講じてきました（サージカルマスクの着用・診察ごとのドアノブを含めた室内消毒・トイレ掃除の徹底・一定時間の換気・来院者全員へのマスク着用のお願い等）。しかしながら診察室内はいわゆる「密」な環境であり、私たち医療従事者は常に感染のリスクに晒されています。COVID-19患者の8割以上が軽症もしくは無症状と言われています。図らずも対面で飛沫（くしゃみ、咳）を浴びた場合、たとえサージカルマスクを着用していようとも罹患するリスクがあります。私たち自身が罹患すること以上に危惧しているのは、自分を介して他の患者さん、同僚、家族へ感染を広げることです。私たちにも家族がいます。また院内感染が広がれば最長２週間外来診療を停止することになります。その間、周辺の小児科・内科への負担は増大し機能不全となる可能性があります。今は当たり前と思っている医療が当たり前に受けられなくなります。
　院内に入られる方は全員（症状の有無にかかわらず）、以下をお守りください。

* マスク着用（布マスク可）　対面での飛沫感染のリスクを下げられます
* 最少人数での来院　持ち込まない・もらわない
* リスクを有する方の入館制限（COVID-19を懸念される家族がいる・味覚/聴覚異常がある・2週間以内の県外への外出歴がある・3日以内の発熱歴）

　リスクを有する方は別の方に付き添いをお願いしてください。やむを得ず来院された場合には車待機・車内診察をお願いしますが、防護具も枯渇しておりますので極力お控えください。

3. 予防接種業務を滞らせない

　今回のCOVID-19流行でお分かりのように、感染症に対する最大の防御策はワクチン接種です。世の中にはCOVID-19以上の感染力を有する病原体が存在しますが、ワクチン接種の普及により大流行を抑えられるようになりました。COVID-19が流行している今だからこそ、抑えうる感染症は予防すべきであり出来うる限り予防接種は進めるべきと考えます。
　上述の通り院内経由での感染拡大には最大限の注意を払っておりますが、ワクチン接種でご来院の方々にも以下の点にはご留意いただきたく存じます。

* マスク着用（布マスク可）　自覚症状がなくても
* 最少人数での来院
* 時間通りの来院　遅れると次の方のお部屋が準備できません
* 診察・相談のある方は別日に

　院長は2月下旬以降、体力維持目的で通っていた週3回のテニススクールを退会し、外食・家族以外との会食を禁じ、家族とも距離を極力保っています。それでもCOVID-19に罹患することは医療従事者である以上避けられないと考えています。もしも疑わしい症状があれば（COVID-19であろうとなかろうと）最長２週間外来診療を停止するつもりでいます。ただし、その状況でも予防接種業務は滞りなく進められるよう準備しております。リスク分散のためにスタッフの自宅での昼食摂取を勧めており、昼休み中の電話応対を中止しています。ご不便をおかけする面もございますがご理解のほど宜しくお願いいたします。
　当たり前の医療が当たり前に受けられるよう、上記注意事項をお守りいただき当院へお越しいただきますようお願いいたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和2年4月15日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Leeこどもクリニック　李光鐘